

# 第8回東海川崎病研究会

## プログラム

日時 昭和63年5月28日(土) 午後2時～6時

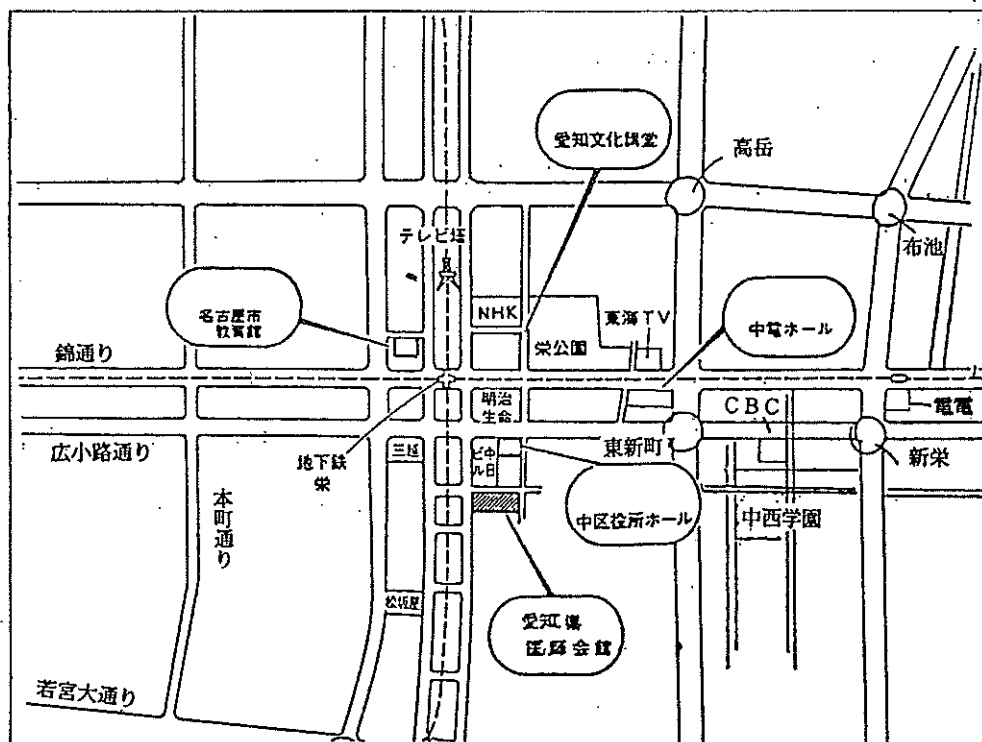
場所 愛知県医師会会館 地下1階「健康教育講堂」

名古屋市中区栄4丁目14番28号

TEL (052) 241-4136

- 口演時間：5分
- スライドは一面のみ使用です。図表はライカ版スライドをお願いします。
- 「会誌」の作成を予定しております。  
演者には改めてご連絡申し上げます。

### 愛知県医師会館ごあんない図



当番幹事 松阪市民病院 小児科 青木謙三

事務局 愛知医科大学 小児科学教室

## プログラム

14:00 1. 開会の辞 松阪市民病院 小児科 青木謙三

### 2. 一般演題

14:05 座長 山田赤十字病院 小児科 井上正和

#### (1) 川崎病は最近軽症化したか？

大垣市民病院 小児循環器・新生児科 ○山崎嘉久、田内宣生、市川孝行  
河野秀俊

大垣市民病院 小児科 近藤富雄、安田寛二、西田 隆  
平泉泰久、藤井秀比古

県立岐阜病院 小児科 久野保夫

岐阜大学病院 小児科 桑原尚志

#### (2) 敗血症として治療されていた川崎病の2男児例

名古屋市立大学病院 小児科 ○白谷尚之、岩佐充二、加藤敏行  
名古屋市立東市民病院 小児科 松本 博、木戸内清、野村 恒

#### (3) 高校検診ではじめて発見された川崎病冠動脈瘤の1例

東海病院 小児科 ○長井典子  
名古屋大学 小児科 浅井俊行、中島崇博、長嶋正実  
社会保険中京病院 小児循環器科 松島正気、奥村直哉、石川秀樹  
安城更生病院 小児科 小川昭正

#### (4) 川崎病に4回罹患した1例

— 川崎病再発例と冠動脈障害の検討 —

県立岐阜病院 小児科 ○鶴見 充、久野保夫、小野博正  
北村政和、田中 浩

県立岐阜病院 新生児科 杉山はつみ

岐阜大学 小児科 桑原尚志

大垣市民病院 小児循環器科 山崎嘉久

国立療養所長良病院 小児科 矢嶋茂裕

15:00

座長

藤田学園保健衛生大学病院 小児科 大須賀明子

- (5) 当科における6ヶ月未満の川崎病21例の臨床的検討  
名古屋第二赤十字病院 小児科 ○張 尚美、井口敏之、大野敏行  
加藤昌弘、鈴木敏弘、岩佐充二  
毛利篤子、安藤恒三郎
- (6) 非定型川崎病症例の検討  
山田赤十字病院 小児科 ○井上正和、村田博昭、井 忠明  
田畑しおり、鈴木正治、小島當三
- (7) 両側冠動脈病変を来たした12例の検討  
藤田学園保健衛生大学病院 小児科 ○近藤康人、田中 宏、小倉良介  
大須賀明子  
市立岡崎病院 小児科 兼子哲一  
加茂病院 小児科 田中明彦
- (8) 川崎病罹患児長期フォローにおける冠動脈造影と  
心断層エコー  
社会保険中京病院 小児循環器科 ○松島正気、奥村直哉、石川秀樹  
西端健司  
安城更生病院 小児科 小川昭正  
名古屋大学病院 小児科 長嶋正実
- (9) 発症から数年後に心拡大をきたした川崎病既往児  
富士宮総合病院 小児科 ○夏目博宗、伊藤政孝、堀場映子  
五十嵐良雄  
浜松医科大学 小児科 西田光宏、小林 順

16:05

座長

名古屋第二赤十字病院 小児科 安藤恒三郎

(10) 川崎病の免疫グロブリン療法

— 臨床所見に対する影響 —

名古屋第二赤十字病院 小児科 ○岩佐充二、井口敏之、張 尚美  
大野敏行、加藤昌弘、鈴木敏弘  
毛利篤子、安藤恒三郎

(11) 血清病離乳期ウサギの心冠状動脈病変に対する免疫グロブリンの効果

愛知医科大学 小児科 ○田宮寛、尾内善四郎、榊原吉峰  
安藤峯子  
愛知医科大学 第二病理 生田耕司、永松潔和  
(株)ミドリ十字 中央研究所 名倉一晶

(12) 川崎病と Exanthema Subitum Virus の関係

藤田学園保健衛生大学 小児科 ○吉川哲史、須賀定雄、浅野喜造  
矢崎雄彦

(13) 感染症サーベイランスより見た三重県下の川崎病の発生数と流行時における地域別発生状況

三重大学 医学部 小児科 ○大島重雄、紀太博仁、青木謙三  
三重県保健環境部保健予防課 宮崎脩子  
山田赤十字病院 小児科 井上正和

休 憩 (10分)

17:00

司会

松阪市民病院 小児科 青木謙三

3. 特別講演

自治医科大学 公衆衛生学 柳川 洋 教授  
「川崎病の疫学」

18:00

4. 閉会の辞

愛知医科大学 小児科 尾内善四郎